

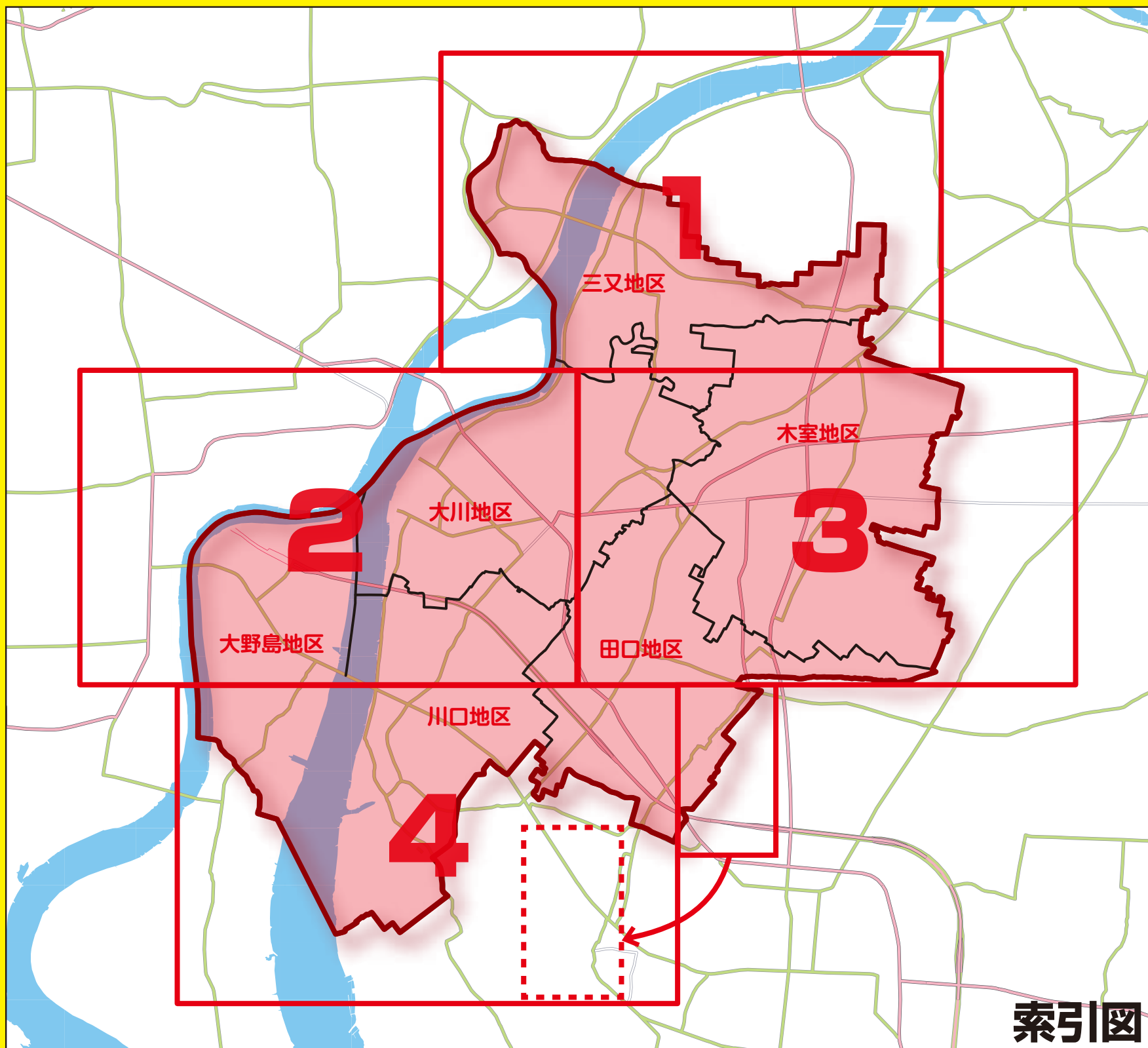
大川市



総合防災ハザードマップ

～災害から命を守る～

大川市役所地域支援課 ☎0944-85-5605



気象情報については
福岡管区気象台
<http://www.jma-net.go.jp/fukuoka/>



大川市の情報については
大川市ホームページ
<http://www.city.okawa.lg.jp/>

はじめに

「大川市総合防災ハザードマップ」発行に寄せて

このたび市民の皆様には風水害や地震等に関する情報を提供し、災害に対して事前の備えに役立てていただくことを目的に「大川市総合防災ハザードマップ」を作成いたしました。

この総合防災ハザードマップは、浸水害の危険箇所、避難所などをはじめ、様々な災害に対する知識と備えをまとめております。ご家族で防災について話し合う機会や、自主防災組織などの活動の際にぜひ役立てていただきますようお願いいたします。

今後も、市民の皆様と行政が連携・協力し「災害に強いまちづくり」の実現にむけて、全力をあげて取り組んでまいりますので、市民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。



目次

◆ 防災ハザードマップについて	1
◆ 災害・防災情報について	2～3
◆ 洪水	4
◆ 風水害・台風	5
◆ 地震	6
◆ 火災	7
◆ 防災対策&チェック	8
◆ 家庭内備蓄品	9
◆ 指定避難所・自主避難所一覧	10
◆ 避難情報	11
◆ 洪水ハザードマップ 1～4	12～19
◆ 津波ハザードマップ	20～21
◆ 高潮ハザードマップ	22～23
◆ 家庭での備えをしていますか？	24
◆ 家庭のオリジナルマップを作ろう!／災害時のメンタルヘルス	25
◆ 防災に関する知識	裏表紙

発行：大川市 制作・著作：株式会社ゼンリン福岡営業所 作成：令和3年3月

「この地図は、大川市長の承認を得て、同市発行の1:2500都市計画基礎図を使用し、調製したものである。(承認番号) 令和2年度大川都第96号」

「測量法に基づく国土地理院長承認(使用) R 2JHs 293-165号」

「JIS Z 8210 広域避難場所 避難所(建物)」

(禁無断複製) ©2021 ZENRIN CO., LTD.

防災ハザードマップについて

この防災ハザードマップは、災害の発生により被害が想定される内容、場所を事前に知っていただき、災害に備えていただくことを目的としています。

防災ハザードマップの使い方

チェック✓しましょう

まず、自宅の位置を確認しましょう。

自宅がある場所は、どのような災害が予想されるのかを、地図をみて確認しましょう。



災害想定区域を避けて、避難経路を決めましょう。

避難経路を地図で確認し、河川氾濫や津波などの災害が想定される場所を避けて避難できるようにしましょう。



自宅付近の避難所を確認しましょう。

自宅に一番近い災害に応じた避難所を地図で確認しましょう。



実際に避難経路を歩いてみて、安全を確認しましょう。

家庭や地域で話し合いながら、実際に歩いてみましょう。避難経路に危険な場所がある場合には、避難経路を見直しましょう。



使い方のポイント

1. 家族で話し合おう

日頃から災害への備えや災害時の行動について、家族で話し合っておきましょう。災害時に慌てず適切な対応をとることが、いざという時大切な家族の命を守ることにつながります。

2. 地域(自主防災組織)で話し合おう

近年、大規模な災害が頻発しており、災害から身を守るためには、行政だけでなく地域の住民による助け合いも不可欠となります。日頃から地域の行事への参加や地域で防災の講習会を実施するなどして、いざという時、地域で協力し合える体制をつくっておきましょう。

①防災情報の確認・共有

住民一人ひとりが防災に関心をもつよう、防災訓練等の機会に、防災ハザードマップを使用した勉強会を実施して知識や情報の共有を図りましょう。また、安全を確保するために地域で一時的に避難する場所(一時避難場所)や安全な避難経路の検討等を行い、地域で防災に関する情報を共有しておきましょう。

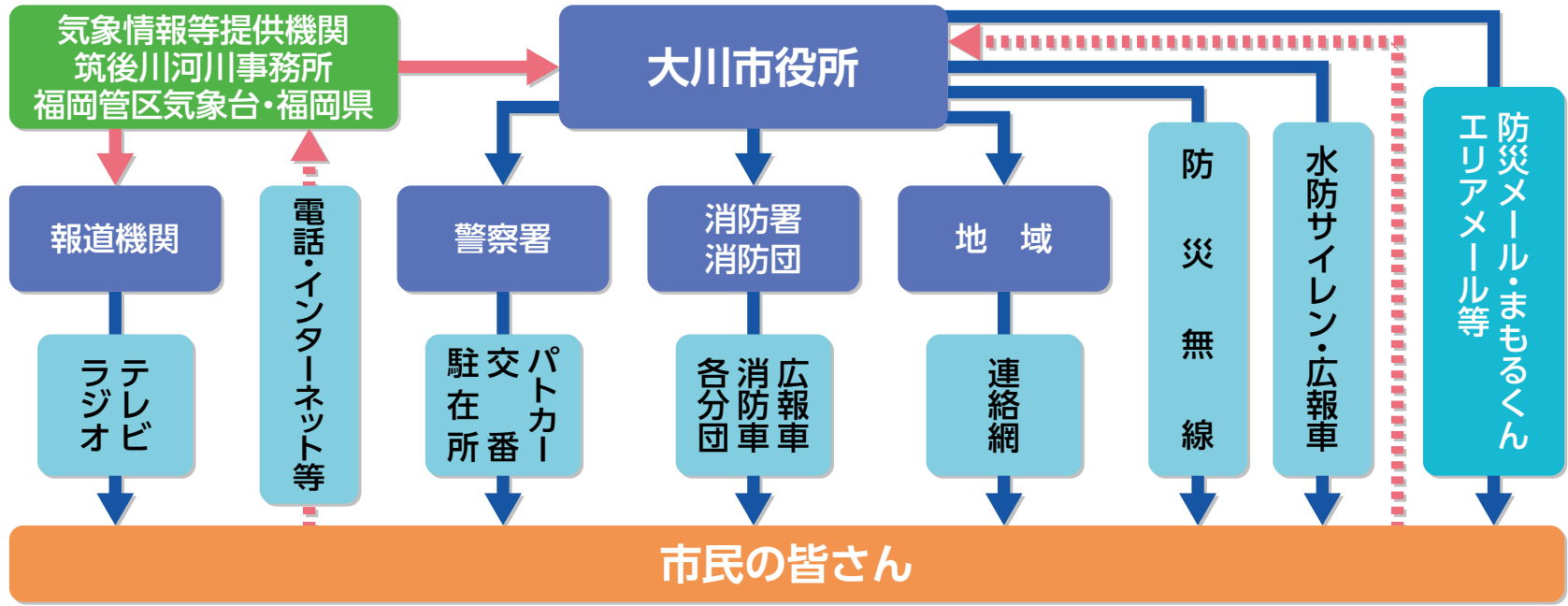
②支援が必要な人の確認

地域にいる支援が必要な人の位置と防災ハザードマップを照らし合わせて、安全な避難誘導等、いざという時の支援方法について考えてみましょう。

災害・防災情報について

情報の伝達方法

気象情報や避難指示などは、次のような経路で住民の皆さんに伝達されます。大雨や洪水などの注意報・警報はテレビ・ラジオでも流れますので見落とさないようにしましょう。特に、避難指示などが出たら速やかに避難してください。



特別警報をご存知ですか？

気象庁は、大雨、地震、津波、高潮などにより重大な災害の起こるおそれがある時に、警報を発表して警戒を呼びかけます。これに加え、警報の発表基準をはるかに超える大雨や大津波等が予想され、重大な災害の起こるおそれが著しく高まっている場合、「特別警報」を発表し最大級の警戒を呼びかけます。

特別警報の発表基準

※表中の“数十年に一度”の現象に相当する降水量等の客観的な指標は気象庁ホームページで公表しています。

現象の種類	基 準	
大 雨	台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想される場合	
暴 風	数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により	暴風が吹くと予想される場合
高 潮		高潮になると予想される場合
波 浪		高波になると予想される場合
暴風雪	数十年に一度の強度の台風と同程度の温帯低気圧により雪を伴う暴風が吹くと予想される場合	
大 雪	数十年に一度の降雪量となる大雪が予想される場合	
地震(地震動)	震度6弱以上の大きさの地震動が予想される場合 (緊急地震速報(震度6弱以上)を特別警報に位置づける)	
津 波	高いところで3メートルを超える津波が予想される場合(大津波警報を特別警報に位置づける)	

特別警報が発表されたら

- ◆お住まいの地域は、これまでに経験したことのないような、重大な危険が差し迫った異常な状況にあります。
- ◆この数十年間災害の経験が無い地域でも、重大な災害の起こるおそれが著しく高まっていますので、油断しないでください。

「特別警報が発表されない」は「災害が発生しない」ではありません。
特別警報が発表されないからといって安心することは禁物です。

これまでどおり注意報、警報、その他の気象情報を活用し、早めの行動をとることが大切です。
普段から避難場所や避難経路を確認しておきましょう。 ※気象庁ホームページより一部を抜粋して掲載

最新の災害情報を知りましょう

災害時には、自分で積極的に情報収集することが大切です。
防災情報をテレビ、インターネット、メールなどで確認してください。

インターネットで調べる

表紙のQRコードを読み取って最新の情報を確認してください。



河川の水位情報など
国土交通省川の防災情報
<https://www.river.go.jp/>



福岡県ホームページ
<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/>

県内の防災情報など

福岡県防災ホームページ

<https://www.bousai.pref.fukuoka.jp/index.php>



九州電力送配電(停電情報)

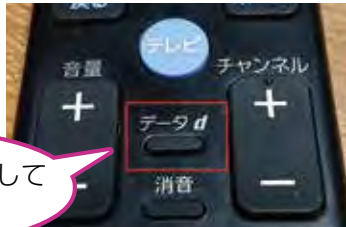
https://www.kyuden.co.jp/td_info_teiden/fukuoka.html



テレビで調べる

まずテレビをつけて、何が起こったのか、現在の状況や今後の見通しなど最新の情報を確認してください。
K B Cのd ボタンで、大川市からの緊急のお知らせを見ることができます。

テレビのd ボタンを押して操作してください。



防災メール・まもるくん

福岡県による防災情報などのメール配信システムです。いざという時のために登録し、情報収集に役立ててください。
詳しくは福岡県防災ホームページをご覧ください。

下記アドレスに空メールを送信し、折り返し届いたメールに従って登録してください。

mamoru@bousaimobile.pref.fukuoka.lg.jp

コード読み取り機能付
携帯電話の場合はこちらから▶



お問い合わせ先…福岡県防災企画課 TEL:092-643-3114

緊急速報メール

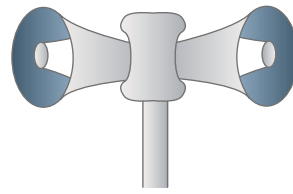
「緊急速報メール」により、緊急情報を配信します。

市では、災害時の避難勧告などの緊急情報をより多くの人にお伝えするため、緊急時に市内にいる人の携帯電話へ「緊急速報メール」の配信を行います。

- ◆「緊急速報メール」とは、避難勧告などの緊急情報を市内にいる人の携帯電話(NTTドコモ、au、ソフトバンク等)へ一斉にメールを配信するものです。
※機種により「緊急速報メール」を受信できない場合や受信設定が必要となる場合がありますので、詳しくは、各携帯電話会社へお問い合わせください。
- ◆配信する情報は、避難指示など、緊急かつ重要な情報です。
- ◆携帯電話を利用する人の費用負担や事前のメールアドレス登録は必要ありません。

防災行政無線

災害情報を屋外スピーカーや戸別受信機などでお知らせします。
屋外スピーカーの音声は、家の中や豪雨時には聞き取りにくい場合があります。
聞き取れなかった場合は、市のホームページやK B Cのd ボタンで防災行政無線の放送内容を確認できます。



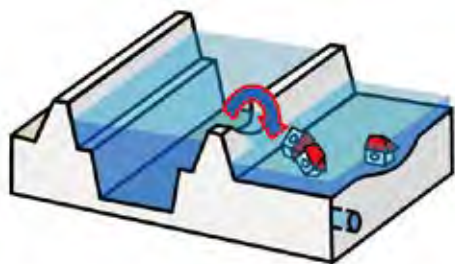
洪水

洪水害発生危険性が認められる場所

洪水害は、堤防から水があふれたり堤防が決壊した場合に浸水が予想される区域や、流れの速い河川沿いで発生します。特に、決壊した堤防の付近や幅が狭く氾濫時に水かさが増える場所では、破壊力の大きな氾濫流が生じて家屋が押し流されるおそれがあります。

あらかじめハザードマップなどで浸水想定区域を確認するとともに、お住まいの環境に危険性がないかを把握してください。

洪水で命が脅かされる危険性が認められる場所は以下のとおりです。



- ◆ 流れの速い河川で川岸が削られて家屋が流されてしまう場所
- ◆ 川からあふれた水の流れにより家屋が流失してしまう場所

- ◆ 川の付近の低地の家屋や地下室などのように、深く浸水してしまう場所
- ◆ ゼロメートル地帯のように、浸水が長期間継続してしまう場所

など

避難のタイミングをつかむための情報

洪水注意報や洪水警報が発表されたら、川の水位が上がる前の早いうちから「洪水警報の危険度分布」を見てください。自分がいる場所の上流地点も含め、危険度が高まっている場合には、早めの避難行動を心がけてください。

洪水警報を確認

河川	危険度	避難
上流	危険	避難
中流	危険	避難
下流	危険	避難
河口	危険	避難

危険度の高まる時間帯を確認しましょう。

洪水警報の危険度分布(気象庁)を確認

<https://www.jma.go.jp/jp/suigaimesh/flood.html>
洪水害の危険度を詳しく予想しています



スマホで簡単アクセス



洪水警報が発表されて、危険度が薄い紫になったわ。安全な場所にある知人の家などへ避難しましょう。

指定河川洪水予報(気象庁)を確認

大河川を対象とした指定河川洪水予報の発表状況も、危険度分布に太い線で重ねて表示しています。▶

洪水に関する河川情報と避難判断の目安となる水位

洪水に関する避難の情報は、気象庁が示している下記の水位を目安として、気象状況等を総合的に判断し、市が発令します。

「避難指示」などが発令されるときは、堤防決壊や越水の危険性が高まっていますので、すぐに避難しましょう。

また、高齢者など避難に時間を必要とする人は、「**高齢者等避難**」が発令されたら避難してください。



避難行動の詳細な説明はこちらのページからご確認ください。 https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/bosai/riskmap_flood.html

洪水予報河川の洪水で命に危険が及ぶ地域では、指定河川洪水予報の内容に応じた避難を心がけてください。それ以外の河川の洪水で命に危険が及ぶ地域では、赤色以上の危険度となった場合は、命を守るための避難行動を心がけてください。

風水害・台風

大雨や強風はわたしたちに何度も大きな災害をもたらしています。普段から気象情報に十分注意し、避難の際もみんなで協力しましょう。

大雨情報をキャッチ！こんなときのわが家の安全対策。

雨量の目安・気象情報の種類と基準

大雨注意報・大雨警報・記録的短時間大雨情報の発表基準

大雨注意報

大雨による災害が発生するおそれがあると予測される場合。

大雨警報

大雨による重大な災害が発生するおそれがあると予測される場合。

記録的短時間大雨情報

土砂災害や浸水害、中小河川の洪水害の発生につながるような猛烈な雨が降っている場合。
【発表基準】
1時間雨量 110mm以上



雨の強さと降り方

(1時間雨量:mm)

10mm 以上～20mm 未満	20mm 以上～30mm 未満	30mm 以上～50mm 未満	50mm 以上～80mm 未満	80mm 以上～
雨の音で話し声がよく聞き取れない。	ワイパーを速くしても見づらい。側溝や下水、小さな川があふれる。	道路が川のようになる。避難の準備が必要。	マンホールから水が噴出する。多くの災害が発生する。	雨による大規模な災害の発生する恐れが強く、厳重な警戒が必要。

風の強さと吹き方

(平均風速:m/秒)

10m/秒 以上～15m/秒 未満	15m/秒 以上～20m/秒 未満	20m/秒 以上～25m/秒 未満	25m/秒 以上～
風に向かって歩きにくくなる。傘がさせない。	風に向かって歩けない。転倒する人もいる。	しっかりと身体を確保しないと転倒する。風で飛ばされた物で窓ガラスが割れる。	立ってられない。屋外での行動は危険。樹木が根こそぎ倒れはじめる。

台風

日本には毎年多数の台風が接近あるいは上陸し、たびたび大きな被害をもたらします。台風の接近が予想される際は、台風情報に十分注意し、被害のないように備えることが必要です。

大きさ	風速 15m/秒 以上の半径	強さ	最大風速
大型(大きい)	500km 以上～800km 未満	強い	33m/秒 以上～44m/秒 未満
超大型(非常に大きい)	800km 以上	非常に強い	44m/秒 以上～54m/秒 未満
		猛烈な	54m/秒 以上

※最大風速は10分間の平均風速の最大値です。最大瞬間風速はこれよりさらに強い風となります。

大雨時は早めの避難を

危険が迫る前に早めの避難が必要です。避難場所への移動(水平避難)だけでなく、自宅の2階といった高い場所への移動(垂直避難)も考えましょう。既に浸水しているなど、避難場所への移動が危険な場合は垂直避難を行い救助を待ちましょう。

避難場所への移動(水平避難)

浸水前なら



避難をするなら浸水前に早めの避難を！

高所への移動(垂直避難)

浸水後なら



浸水後も安全に自宅滞在が可能なら家屋や家財の被害軽減を！

危険な避難

浸水の中の避難は危険



非常に危険です

地震

地震発生

1～2分

3分

5分

10分

数時間

3日

地震発生時の時間経過別行動マニュアル

最初の大きな揺れは約1分間

- ◆まず、身を守る安全確保…手近な座布団などで頭を保護
- ◆大きな揺れの場合は、身の安全を確保する。

揺れがおさまったら

- ◆火元を確認…火が出たら、落ち着いて初期消火
- ◆家族の安全を確認…倒れた家具の下敷きになっていないかを確認
- ◆靴をはく…家の中はガラスの破片が散乱。すばやく屋外の安全な場所に一時避難する
- ◆避難するときは、屋根瓦・ブロック塀・自動販売機などに注意
- ◆津波などの危険が予想される地域はすぐ避難

みんなの無事を確認 火災の発生を防ぐ

- | | | |
|---|--|--|
| 隣近所に声をかけよう <ul style="list-style-type: none"> ◆要配慮者の安全確保…隣近所で助け合う ◆行方不明者はいないか ◆ケガ人はいないか | 出火防止 初期消火 <ul style="list-style-type: none"> ◆漏電・ガス漏れに注意…避難の際は電気のブレーカーを下ろす・ガスの元栓を閉める ◆初期消火…消火器を使う／バケツリレー／風呂の水はため置きをしておく | <ul style="list-style-type: none"> ◆余震に注意 |
|---|--|--|

ラジオなどで正しい情報を得る

- ◆大声で知らせる
- ◆デマにまどわされないように
- ◆電話は緊急連絡を優先する
- ◆防災機関、自主防災組織の情報を確認
- ◆避難時に車は極力使用しない

協力して消火活動、救出・救護活動

- ◆水、食料は蓄えているものでまかなう ※3日間の飲料水と食料の備蓄をしておく
- ◆災害・被害情報の収集
- ◆助け合いの心が大切
- ◆壊れた家に入らない



屋内にいた場合

家の中

- ◆揺れを感じたら、身の安全を確保する。
- ◆火の確認はすみやかに(コンセントやガスの元栓の処置も忘れずに)。
- ◆乳幼児や病人、高齢者など要配慮者の安全を確保する。
- ◆裸足で歩き回らない(ガラスの破片などでケガをする)。

集合住宅

- ◆ドアや窓を開けて避難経路を確保する。停電による停止の可能性があるため避難にエレベーターは絶対に使わない。

劇場・ホール

- ◆カバンなどで頭を保護し、座席の間に身を隠し、係員の指示を聞く。
- ◆あわてずに冷静な行動をとる。

デパート・スーパー

- ◆カバンなどで頭を保護し、ショーウィンドウや商品などから離れる。
- ◆柱や壁ぎわに身を寄せ、係員の指示を聞き、落ち着いた行動をとる。

屋外にいた場合

海岸付近

- ◆高台へ避難し津波情報をよく聞く。注意報・警報が解除されるまでは海岸に近づかない。

車を運転中

- ◆ハンドルをしっかりと握り、徐々にスピードを落とし、緊急車両などの通行スペースを確保し、道路の左側に止め、エンジンを切る。
- ◆揺れがおさまるまで冷静に周囲の状況を確認して、カーラジオで情報を収集する。
- ◆避難が必要なときは、キーはつけたまま、ドアロックもしない。車検証などの貴重品を忘れずに持ち出し、徒歩で避難する。

電車などの車内

- ◆つり革や手すりに両手でしっかりとつかまる。
- ◆途中で止まっても、非常コックを開けて勝手に外へ出たり、窓から飛び降りたりしない。
- ◆乗務員の指示に従って落ち着いた行動をとる。

路上

- ◆その場に立ち止まらず、窓ガラス、看板などの落下物から頭をカバンなどで保護して、空き地や公園などに避難する。
- ◆近くに空き地などがいないときは、周囲の状況を冷静に判断して、建物から離れた安全性の高い場所へ移動する。
- ◆ブロック塀や自動販売機などには近づかない。
- ◆倒れそうな電柱や垂れ下がった電線に注意する。

火災

火災が起きた時の対応

万が一火災が発生した時は、まず隣近所に火事を知らせ、すみやかに119番通報を！初期消火で火を消せなかったら、無理をせず、すばやく避難しましょう。

1. 早く知らせる

- ◆「火事だ」と大声を出して、知らせる。
- ◆119番に通報する。近くに人がいれば通報を頼む。



2. 早く消火する

- ◆消火器で初期消火。
- ◆座布団で火を叩く、毛布でおおうなども効果的。



3. 早く逃げる

- ◆天井に火が燃え移ったら、すぐに避難する。
- ◆燃えている部屋の窓やドアを閉めて空気を断つ。



消火器の使い方

粉末・強化液消火器の場合

- 安全ピンに指をかける上に引き抜く。
- ホースをはずして火元に向ける。
- レバーを強く握って噴射する。

- ◆高温多湿を避けて設置してください。さびついたり変形しているものは破裂などの可能性がありますので、使用しないでください。



119番通報要領

通報は、ゆっくりと・正確に・はっきりと！

- ①119番消防です！火事ですか？救急ですか？
落ち着いた問いかけに答えください。
- ②火事です。
- ③火事です！住所を市町村名から教えてください！
- ④大川市大字〇〇 〇〇番地〇〇の消防太郎です。

通話の途中でも、場所と内容を確認すると同時に、消防署から消防車・救急車が出勤します。

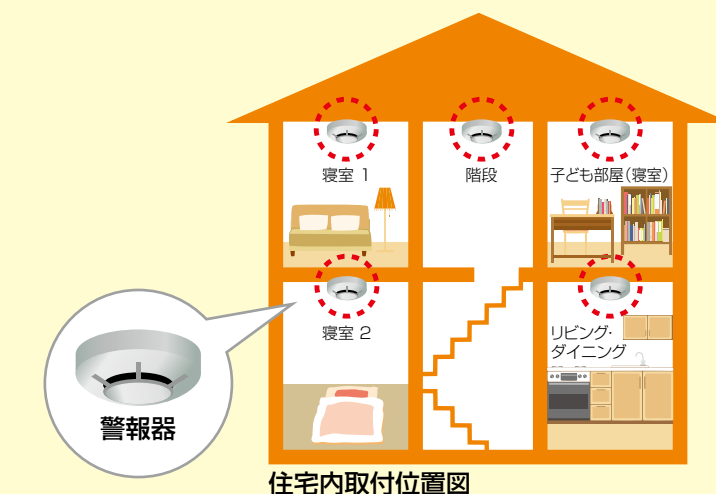
このほか、次のような事項をお尋ねします。

- ◆何が燃えているか？
- ◆けが人や逃げ遅れがないか？
- ◆どのくらい燃えているか？
- ◆消火を行っているか？

住宅用火災警報器の設置・点検

- ①消防法改正により、平成18年6月から住宅用火災警報器の設置が義務化されました。住宅火災による死傷者をなくするため、設置していない住宅は早期に設置をお願いします。

- 設置場所**
- ◆寝室…すべての寝室
 - ◆階段…寝室のある階段の天井
 - ※台所への設置をお勧めします



- ②住宅用火災警報器の本体及び電池の交換時期は、設置後約10年です。定期的に点検を行い、維持管理をお願いします。

防災対策&チェック

突然の災害に備えて、今、自分たちでできることを見回してみましょう。
日頃から対策ができているか、チェック☑しましょう。

家の中の安全対策

Check Point

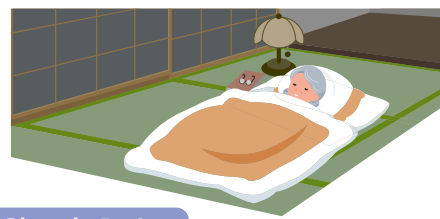
家の中に逃げ場としての安全な空間をつくる

部屋がいくつもある場合は、人の出入りが少ない部屋に家具をまとめて置く。
無理な場合は、少しでも安全なスペースができるよう配置換えする。

Check Point

家具の転倒を防ぐ

家具と壁や柱の間に遊びがあると倒れやすい。家具の下に小さな板などを差し込んで、壁や柱によりかかるように固定する。
また、金具や固定器具を使って転倒防止策を万全に。



Check Point

寝室、子どもやお年寄りのいる部屋には家具を置かない

就寝中に地震に襲われると危険。子どもやお年寄り、病人などは逃げ遅れる可能性がある。

Check Point

安全に避難するため、出入口や通路にもものを置かない

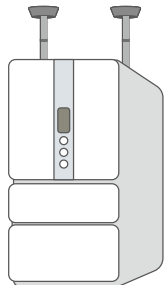
玄関などの出入口までの通路に、家具など倒れやすいものを置かない。また、玄関にいろいろものを置くと、いざというときに、出入口をふさいでしまうことも。

家具の転倒、落下を防ぐポイント

Check Point

冷蔵庫

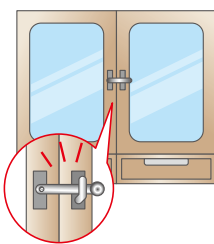
支え棒などで固定する。



Check Point

食器棚

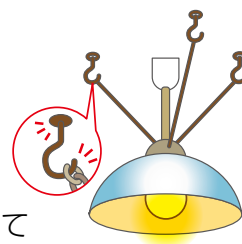
L字金具などで固定し、棚板には滑りにくい材質のシートやふきんなどを敷く。重い食器は下の方に置く。扉が開かないように止め金具をつける。



Check Point

照明

チェーンと金具を使って数か所止める。蛍光灯は蛍光管の両端を耐熱テープで止めておく。



Check Point

タンス・本棚

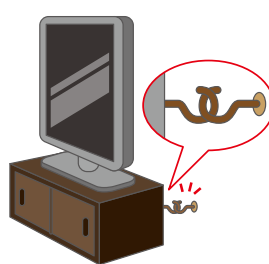
L字金具や支え棒などで固定する。二段重ねの場合はつなぎ目を金具でしっかり連結しておく。



Check Point

テレビ

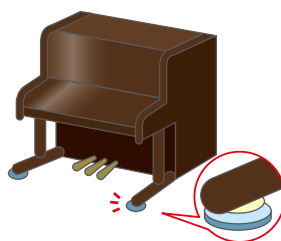
できるだけ低い位置に固定して置く(家具の上はさける)。



Check Point

ピアノ

脚には、すべり止めをつける。



家の周囲の安全対策

Check Point

屋根

不安定な屋根のアンテナや、屋根瓦は補強しておく。

Check Point

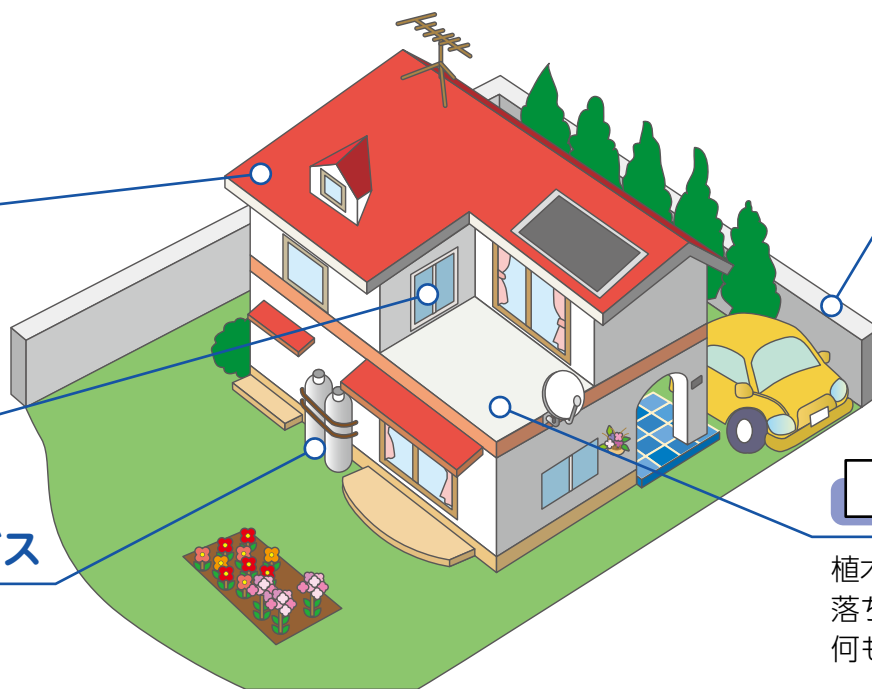
窓ガラス

飛散防止フィルムをはる。

Check Point

プロパンガス

ボンベを鎖で固定しておく。



Check Point

ブロック塀・門柱

土中にしっかりとした基礎部分がないもの、鉄筋が入っていないものは危険なので補強する。ひび割れや鉄筋のさびも修理する。

Check Point

ベランダ

植木鉢などの整理整頓を。落ちる危険がある場所には何も置かない。

家庭内備蓄品

家庭内備蓄品チェックリスト

災害時に困らないよう常備しておきましょう。

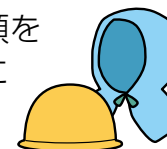
飲料水

一人一日3ℓが目安。



ヘルメット・防災頭巾

飛来物や落下物から頭を保護するものをすぐに取り出せる所に。



衣類

下着・ジャンパー・タオルなど。



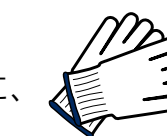
食料品(3日分)

乾パン・缶詰・ビスケット・チョコレートなど。
※赤ちゃんのいる家庭は、ミルク・ほ乳びんなども。



手袋(軍手)

ガレキの撤去や救助に、厚手のものを用意。



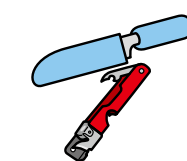
レインコート・雨具

雨天、防寒に。コンパクトにたためるものが便利。



缶切り・ナイフ

多機能なものが便利。



ろうそく

濡れない様にビニール袋に入れて、保管する。



毛布

寝袋や、体温を逃がさないサバイバルシートなども重宝。



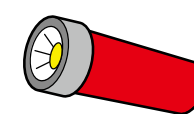
マッチ・ライター

湿気やガス切れに注意。防水マッチも市販されている。



懐中電灯

夜間、すぐに手の届く場所に。



運動靴

避難する時に怪我を防止するために。すぐに取り出せる所に。



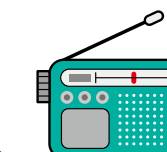
医薬品

消毒薬・胃腸薬・脱脂綿・バンソウコウ・包帯・持病の薬。



ラジオ

情報収集に欠かせない。懐中電灯と一体型のものも便利。



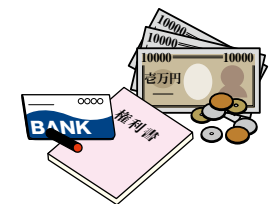
紙皿・紙コップ・ラップ・割りばし

ラップを取り替えて使うことで、洗わないで使えるので重宝。



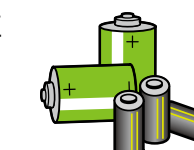
貴重品

現金(小銭も)・保険証・預金通帳・印鑑など。
※いざという時、すぐ持ち出せるように保管場所を決めておきましょう。



乾電池予備・携帯電話のバッテリー

ラジオや懐中電灯に使用するものを少し多めに。

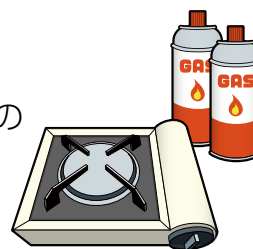


ティッシュ・ウェットティッシュ・マスク・消毒液



燃料

カセットコンロ、予備のカセット、固形燃料



工具類

スコップ、のこぎり、バール、ハンマー、はしご、ジャッキ、ロープ



生活用品

ポリ袋、ビニールシート、新聞紙、ダンボール、スリッパ、長靴、石鹸、ドライシャンプー、歯磨きセット、ランタン、寝袋、テント、簡易トイレまたはけい帯トイレ



災害発生後72時間(3日間)は、救助・救護活動が優先されます。そのため、最低3日分、できれば1週間分の飲料水と食料品を備えておくようにとされています。

指定避難所・自主避難所一覧

いざというときのために、お近くの「指定避難所」・「自主避難所」を確認し、災害時に適切な対応ができるよう、備えてください。「指定避難所」「自主避難所」どちらの場合も、寝具や毛布、食事、飲料水、お薬などはご自分で準備してください。

指定避難所	法律に基づき、市長の判断で「避難指示」などを発令する際に開設される避難所です。 大規模災害発生の際に自主避難所に替えて開設します。
自主避難所	自己の判断で災害が発生する危機が迫っていると思われる場合に自主的に避難する避難所です。 台風などの場合に開設します。

※印のついた施設は「指定避難所」と「自主避難所」を兼ねています。					
施設名	住 所	管理担当 連絡先	施設名	住 所	管理担当 連絡先
大川コミュニティセンター ※	向島1855-2	86-4240	川口小学校	一木482	87-2856
三又コミュニティセンター ※	中古賀208-1	86-2792	大野島小学校	大野島2673	87-3215
木室コミュニティセンター ※	中八院1465	86-2686	大川桐英中学校	向島1850	87-1008
田口コミュニティセンター ※	三丸405-4	86-2309	大川桐薫中学校	下木佐木1186	87-1009
川口コミュニティセンター ※	一木721	87-2801	大川樟風高等学校	向島1382	87-2247
大野島コミュニティセンター ※	大野島2812	86-2885	国際医療福祉大学図書館棟講堂	榎津137-1	89-2000
大川市ふれあいの家	大野島2930	87-0909	国際医療福祉大学屋内運動場	一木421	89-2000
大川小学校	向島1850	86-2243	大川市勤労青少年ホーム	小保614-6	88-0106
宮前小学校 ※	向島845	86-3406	大川勤労者総合福祉センター	小保614-6	86-8367
三又小学校	中古賀198	86-3004	大川市老人福祉センター	酒見221-11	86-3400
道海島小学校 ※	道海島91-1	86-4228	小保団地集会場	小保470-8	86-6615
木室小学校	中木室496	86-2674	大川市民体育館	上巻335	88-3212
田口小学校	三丸2061	86-2857	筑後川総合運動公園体育センター	大野島2852	86-4229

福祉避難所

指定避難所等での生活が困難で介護や福祉的な配慮を必要とする方が、安心して避難生活を送れるように指定避難所とは別に開設される避難所です。福祉避難所は、避難生活の長期化が予見される場合、受入体制を整えた後に開設します。災害発生後すぐに開設される避難所ではないため、まずは身近な避難所に避難してください。福祉避難所は災害時に必ず設置される避難所ではありません。

施設名	住 所	管理担当連絡先
大川市保健センター	上巻405-1	86-8450

ペットとの同行避難について

飼い主はペットと同行避難することが基本ですが、避難所では動物が苦手な人、アレルギーを持っている人がいるため、一般の居住スペースとは別にスペースを設けることとしています。ケージに入れるなどの配慮をお願いします。

◆日頃からケージに慣らしておく

◆ペットフード、医薬品、飼育用品を準備しておく

◆ノミの駆除やブラッシングで清潔に保ち、健康状態に注意する

◆狂犬病予防注射を済ませておく

◆首輪に連絡先を書いた迷子札を装着する

避難情報

※現在、避難情報等の区分や名称の変更が検討されています。
正式に発表されましたら市報やホームページでお知らせします。

集中豪雨や台風などによって、水害や土砂災害などの災害が発生するおそれがあるとき、どの情報をもとに、どのタイミングで避難をするべきか？それぞれの状況に応じて避難できるよう、災害発生の危険度と住民の方々が取るべき行動を5段階の「警戒レベル」を用いてお伝えします。

警戒レベル	状 況	住民が取るべき行動	行動を促す情報
5	災害発生又は切迫	命の危険 直ちに安全確保！	緊急安全確保※1

<警戒レベル4までに必ず避難！>

4	災害のおそれ高い	危険な場所から全員避難	避難指示(注)
3	災害のおそれあり	危険な場所から高齢者等は避難※2	高齢者等避難
2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	大雨・洪水・高潮注意報(気象庁)
1	今後の気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報(気象庁)

※1 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令されるものではありません。
※2 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。
(注) 避難指示は、現行の避難勧告のタイミングで発令します。

大雨のときの避難行動

避難は災害から命を守るための行動です。大雨による災害から身を守る避難行動は、従来、避難勧告等の発令時に行う避難所への避難が一般的でしたが、今後は次の全ての行動を避難行動とします。



屋外が安全で移動できる状態のとき			屋外が危険な状態などのとき
指定避難所への移動	警戒区域等内の自宅などから移動し、安全な場所へ避難 (親戚や友人の家等)	近隣の強固で高い建物等への移動	建物内の安全な場所での待避 (家屋内の垂直避難) やむをえず家屋内に留まった場合、安全を確保する避難行動として水害対策では建物の2階以上の高いところへ、土砂災害対策には斜面と反対方向の高い部屋への移動が有効です。

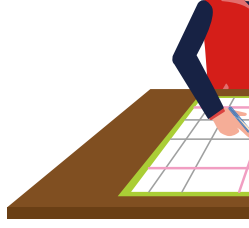


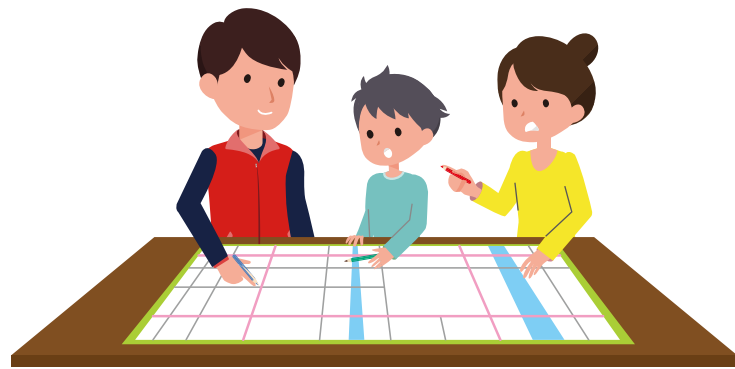
特に、洪水の浸水区域にお住まいの方は、皆さんが早め早めに判断をして、「危ない」と思ったら、直ちに危険な場所から離れる自主避難をすることが命を守ることになります。

家庭での備えをしていますか？

突然起こりうる災害を予測するのは難しいものです。いざというときの家族の行動、避難場所や避難方法、連絡方法などを普段から家族でよく話し合っておきましょう。その際、「家庭内備蓄品」のページを活用して、持ち出し品の点検も行っておきましょう。

家族で話し合っておきたい項目

- 1 家の中ではどこが一番安全か
 - 2 救急医薬品や消火器などを準備しているか
 - 3 乳幼児や高齢者の面倒は誰がみるのか
 - 4 安全な避難経路、避難場所はどこにあるのか
 - 5 避難するとき、誰が何を持ち出すのか、非常時持ち出し袋はどこに置くのか
 - 6 家族間の連絡方法と最終的に出会う場所はどこにするのか
 - 7 昼の場合と夜の場合の役割分担は、はっきり決まっているか
 - 8 地域の防災活動（自主防災組織の訓練など）に参加しているか
- 



家庭のオリジナルマップの作成

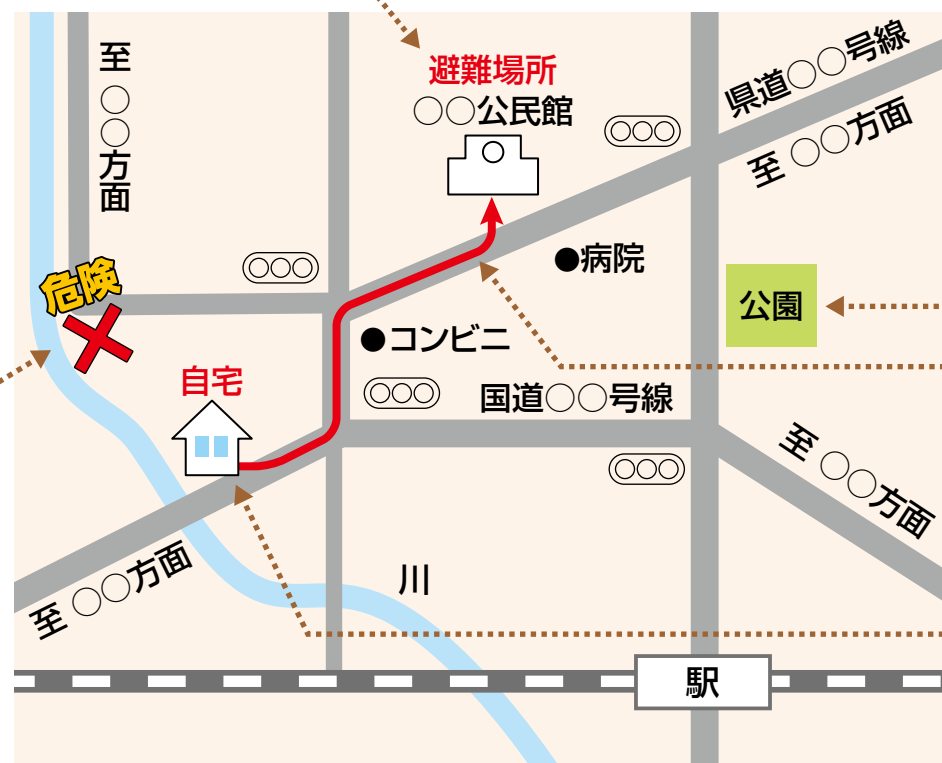
家族で話し合った内容なども踏まえ、自宅から避難場所までの経路や危ない場所などを記載したオリジナルマップを作成し、家庭内で共有しておきましょう。

避難場所

災害が発生した際に避難
する場所をあらかじめ
確認しておきましょう。

危険な場所

川の近くなど、洪水時に危険となるような箇所には印をつけ、その避難経路はとらないようにしましょう。



目印となる場所

避難経路上で目印となる箇所を書き込んでみましょう。特に曲がり角には分かりやすいように目印を加えてみましょう。

避難経路

避難場所までの経路となる、矢印を書き込みましょう。

自宅

自宅を書き込みましょう。

自主防災組織への参加

巨大地震などで大規模災害が発生すると、火災の複数同時発生や建物崩壊、交通網の寸断などで防災機関が満足に機能しなくなる可能性が考えられます。

こうした場合、個人や家族だけの力では各地域の被災者、負傷者を助けることは困難となるため、近隣住民や地域で一体となって協力して防災活動を行う「**共助**」が重要です。「自分たちの地域は自分たちで守る」という考えで隣近所がお互いに協力し、地域ひとつになって防災活動を行うのが「**自主防災組織**」です。「自主防災組織」での訓練は、防災活動に関する知識や技術を学ぶのによい機会です。ぜひ参加しましょう。



家庭のオリジナルマップを作ろう!



災害時のメンタルヘルス

1.症状

災害のように大変強いストレスにさらされると、程度の差はあっても、だれでも次のようなさまざまな心身の反応や状況が現れます。

心理面

- 1 感情が動かなくなる
- 2 強い不安・恐怖
- 3 眠れない・夜中に目が覚める
- 4 孤独感・罪悪感
- 5 いろいろ・怒り

行動面

- 1 怒りっぽくなる
- 2 興奮、取り乱す
- 3 閉じこもり
- 4 飲酒や喫煙の増加
- 5 生活が不規則になる

思考面

- 1 物事に集中できない
- 2 思考力の減退、まひ、混乱
- 3 忘れっぽい、覚えられない
- 4 判断力・決断力の低下
- 5 無気力

身体面

- 1 頭痛・肩こり
- 2 足のだるさ
- 3 胃のもたれ・下痢や便秘
- 4 息苦しさ
- 5 食欲不振

2.予防と解消

- ◆家族や友人とのきずなを大切にしましょう ◆規則正しい生活をこころがけましょう
◆身体をリラックスさせてあげましょう ◆楽しみを見つけ、気分転換を図りましょう
◆つらいことは一人で抱え込まず、誰かに話してきちんと受け止めてもらいましょう

防災に関する知識

日常の心得

災害は、いつ発生するかわかりません。日頃からの備えが大切です。
日頃から気象情報について、テレビ、ラジオ、新聞、インターネットなどを通じて把握するよう努めましょう。



災害用伝言ダイヤルの使い方

災害用伝言ダイヤルとは？

NTTでは、災害発生時に、被災地への通話がつながりにくい状況の場合、被災地内の安否などの情報を音声で録音、再生する「災害用伝言ダイヤル」を設置します。※伝言蓄積数や保存期間は災害の状況により異なります。

伝言の録音	171-1-●●●●-●●●●	(自宅の電話番号、 または連絡を取り たい方の電話番号)	伝言保存期間	提供終了まで
伝言の再生	171-2-●●●●-●●●●		伝言蓄積数	1電話番号あたり 1～20伝言まで
伝言内容(時間)	1伝言あたり30秒以内		利用可能電話	加入電話、ISDN、ひかり電話、 公衆電話、携帯電話(一部除く)など

連絡方法の確認

災害発生時は、家族や知人と連絡が取れなくなることがあります。事前に話し合い、連絡方法を確認しておきましょう。
なお、電話会社各社では、大規模な災害発生時に災害用伝言ダイヤルなどを利用できます。
事前に利用方法を確認しておきましょう。

一般社団法人電気通信事業者協会 <<災害時の電話の利用方法>>	https://www.tca.or.jp/information/disaster.html
NTT西日本 <<災害用伝言ダイヤル171>>	https://www.ntt-west.co.jp/dengon/
NTTドコモ <<災害用伝言板>>	https://www.nttdocomo.co.jp/info/disaster/disaster_board/
au <<災害用伝言板サービス>>	https://www.au.com/mobile/anti-disaster/saigai-dengon/
SoftBank <<災害用伝言板>>	https://www.softbank.jp/mobile/service/dengon/

緊急時の連絡先

大川市役所	0944-87-2101	国土交通省筑後川河川事務所	0942-33-9131
久留米広域消防本部大川消防署	0944-88-1145	国土交通省筑後川河川事務所大川出張所	0944-86-2516
筑後警察署	0942-52-0110	国土交通省筑後川河川事務所諸富出張所	0952-97-0084
大川警部交番	0944-86-4656	国土交通省福岡国道事務所瀬高維持出張所	0944-63-4401
大川昇開橋交番(筑後警察署より転送)	0942-52-0110	国土交通省有明海沿岸国道事務所	0944-74-2930
三又駐在所(筑後警察署より転送)	0942-52-0110	三池海上保安部	0944-53-0521
木室駐在所(筑後警察署より転送)	0942-52-0110	九州電力送配電株式会社久留米配電事業所	0120-986-932
大野島駐在所(筑後警察署より転送)	0942-52-0110	NTT西日本	固定電話から 113
福岡県南筑後県土整備事務所柳川支所	0944-72-4155		携帯電話から 0120-444-113
福岡県筑後農林事務所	0942-52-5642	高木病院	0944-87-0001
福岡県南筑後保健福祉環境事務所	0944-72-2111	福田病院	0944-87-5757
福岡管区気象台	092-725-3600		